



NPO 法人 みんなの 元気塾 だより



令和3年（2021年）の春もいつものように季節を間違わないで巡って来ました。思い返せば2年前のこの時期はまだ平成31年で年号が何になるのか皆が大きな期待とワクワク感でにぎやかに過ごしていた事が思い出されます。ところが1年前のこの時期は「新型コロナウイルス感染症」という未知のウイルスとの遭遇があり、地球規模で世界中の人々が戦々恐々とひたすら自分で感染予防に努めて過ごして行く1年の始まりでした。まもなくして全世界中が『外に出るな、人に会うな、自宅にとどまれ、』とこれまでの当

たり前の暮らしが急に出来なくなり、人との接触をさげ、外に出る時はマスクをし、うがい、手洗いが常識となり部屋の喚起・湿度にも気を配り、買い物に出かけた時は出入り口に置いてあるアルコール消毒薬で手指を消毒し、体温計で検温して入店するなど細かな事までいろいろと注意することが多く出てきました。あれからもう1年が経ったと思うのか、まだ1年なのかはこれからの状況によりますが全世界の全ての人々に公平に襲い掛かって来る脅威は想像に絶するものがあり、ただひたすらに日々刻々と報道される感染状況に一喜一憂しながら過ごしている毎日です。

そんな中でもみんなの元気塾は感染が下火になった時など周りの状況に応じて活動内容を考慮し、時間の短縮・人数の制限等をしてサロンを開催してきました。多くの人が集まることに気を配り、感染予防に努めながら、悩みながら頑張ってきましたが、感染拡大の波に呼応するように京都府に緊急事態宣言等が発出されると必然的に自粛して元気塾のサロンを休業するという対応の繰り返しで来ました。これまで朝から夕方まで土日曜日を除いていつでも玄関が開いておりにぎやかだった元気塾でした今では本当にひっそりと人の影も感じられないような状況になっています。思い返せば地域の居場所としていつでも、誰でもふらっと立ち寄れる場所を目指してこれまで頑張ってきました。開所当時から目指して来た事は地域の中で人と人が出会い、繋がりが生まれ、元気な時は楽しくふれあい、何か困った時には支え合い、助け合うことが出来る地域大家族のような関係を日々日常の中で無理せず焦らず育てていけたらなどの思いが活動の原動力でした。

ちょうど今年の6月1日が10周年の記念日になります。思い返せばこの10年間地域の繋がりがづくりを念頭にいろんな取り組みを展開してきました。

- * 春の花見のお出かけサロン（いろんな所に行きました、）
- * ツアー・オブ・ジャパン時のタケノコご飯やはちくの佃煮の販売、
- * 嶽山広場での芋煮会 など



たくさんの楽しい思い出がありますが、このコロナ感染症の台頭で昨年から全て中止になっています。10周年記念もにぎやかに楽しい企画をと思っておりましたが開催出来そうもなかつただただ残念ではありませんが、もう少し先でコロナ感染症の終息が見え始めた頃に皆さんの力をお借りしてもう一度固い絆でつながり合う喜びを実感できる企画を考えたいと思っています。元気塾の運営もこの新型コロナ感染症と言う歴史的な出来事を乗り越え新たな気持ちで最初からまたやり直ししなさいと示唆されているようにも感じています。これまでの10年間の活動で確実に得たもの、身についたものを土台にして次の活動に繋げていきたいと思っています。また、コロナ禍で学んだことや気づいたこと事などたくさんありますが、一番突き刺さって来るのは日々のコミュニケーションがいかに大切で必要かという事でした。何らかの形で人と人が出会いつながっている事は生きて行く力にもなり原動力でもあると痛感しています。コロナ禍で人に会うことを制限されても「今日はどうしてはるかな!」と思いやる事や思いやる人がいる事は生きる力に繋がっていきます。人の縁にかなうものはないのです。繋がりが出来る事が楽しい、助けてもらってありがたい、ありがとうといってもらえてうれしい、そんな思いを起点にしてこれからの11年目に進んでいきたいと思っています。当初10周年記念式典を予定していましたが今の状況では開催が困難です。コロナ感染症の終息に向けて目途が立った頃に改めて皆さんと共に楽しい企画を計画したいと思っています。いつか皆さんと共に大笑い出来る日が来ることを楽しみにしています。

理事長の気持ちが大きく膨らんだつぶやきです。



つぶやき

100年に一度と言われるコロナ禍で社会経済は大きなダメージを受けていますが、これを契機とし経済、日常生活、地域社会との繋がりなど幸福と豊かさの価値観を見直す契機にしたいと思います。



—追記— 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種がいよいよ高齢者から始まります。この1年間以上いつも気持ちが晴れずにどこか不安を抱えて暮らしてきましたが、ワクチン接種でホットー安心です。でも油断大敵で感染予防には注意しながら元気塾も少しづつ活動の幅を広げて行きたいと思っています。

—「みんなの元気塾」—